

考查基準

1 担当課長 考查基準

(1) 考查方法

担当課長は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

(2) 評定点範囲

採点表（担当課長用）の該当する評価対象項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

2 担当係長（監督員）及び検査員 考查基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、各評価対象項目の評定を行うものとする。（評価対象項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない。）

3 事故等による減点等

(1) 事故等による減点

当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し入札参加資格停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－１を参考として１５点まで減点することができる。

別表－１ 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区分	口頭注意	文書注意	入札参加資格停止 １ヶ月まで	入札参加資格停止が １ヶ月を超える
考查点	－３点	－５点	－１０点	－１５点

【適応事例】

- ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・一括再委託、請負を行った。
- ・打合せ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・当該業務において、安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。

(2) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書の瑕疵担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－２を参考として２０点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、委託業務等成績評定要領（以下「評定要領」という。）第７に定める評定の結果の通知後に当該事象が発生した場合は、評定要領第８に定める評定の修正を行うものとする。

別表－２ 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区 分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により 瑕疵修補又は損害賠償の実施
考 査 点	－１０点	－２０点

(3) 低入札価格調査における虚偽説明等による減点

愛媛県業務委託低入札価格調査実施要綱（令和元年10月1日施行）の規定に基づく低入札価格調査の調査対象者が、当該調査を経て契約を行った後に虚偽の資料提出又は説明を行ったことが明らかとなった場合は、成績評定に厳格に反映することとし、業務成績評定点を減点する場合は、当該業務の総合評定点に対して、別表－3を参考として10点まで減点することができる。また、評定要領第7に定める評定の結果の通知後に当該事象が発生した場合は、評定要領第8に定める評定の修正を行うものとする。

なお、この場合、評定要領別記様式第1及び第2に定める委託業務等成績評定表及び委託業務等成績評定通知書別表においては、「その他（低入札価格調査における虚偽説明等による減点）」として記入するものとする。

別表－3 低入札価格調査における虚偽説明等が明らかとなった場合の減点基準

区 分	調査対象者の故意又は重大な過失による虚偽説明等の場合
考 査 点	－10点

4 「単純調査業務」について

「設計業務等共通仕様書（案）」第1204条及び第1205条に規定する「調査業務及び計画業務」のうち、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等について、「単純調査業務」と定義する。なお、「単純調査業務」の対象業務については、以下に示す例を参考とされたい。

・「単純調査業務」の例

各部門共通	単純なデータ収集整理業務
	単純なデータ処理業務
	書類編集的な業務
	文献収集業務
河川、砂防及び海岸	水理・水文観測業務
	データ加工業務（降雨解析等）
	不等流計算等の計算業務（システム開発を除く）
	補償数量の算出
	工事記録等資料の分類・整理
	工事図面集、写真集等の作成
道路	一般的な現地調査
	一般的な交通量観測業務
	台帳整理等を目的とした資料収集業務
トンネル	クラック等変状の計測調査
施工計画及び施工設備	施工関連資料の収集整理
情報	定期的なデータメンテナンス
	資料収集的な業務
	単純なデータ作成のみの業務
防災	資料収集的な業務
環境	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等調査・分析方法がJIS等で規定されている測定業務

5 適用する採点表について

(1) 業務種類別の適用採点表

ア 測量業務 採点表

評定要領第2第1項第2号、第3号に規定する業務（単純調査業務を除く）に適用する。

イ 地質調査業務 採点表

評定要領第2第1項第1号に規定する業務（単純調査業務を除く）に適用する。

ウ 単純調査業務 採点表

評定要領第2第1項第1号、第2号、第3号及び第4号に規定する業務並びに第5号に規定する業務のうち単純調査業務に適用する。

エ 設計業務「調査・計画業務」採点表

評定要領第2第1項第5号に規定する業務（単純調査業務を除く）に適用する。

オ 設計業務「概略・予備設計」採点表

評定要領第2第1項第6号に規定する業務（概略設計及び予備設計）に適用する。

カ 設計業務「詳細設計」採点表

評定要領第2第1項第6号に規定する業務（詳細設計）に適用する。

キ 評定要領第2第1項第7号に規定する業務の採点表は、担当係長（監督員）が決定する。

(2) 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、上記(1)ア～キのうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の採点表を適用する。

(3) 採点表の選定について

対象業務が複数にまたがる場合の取扱いや単純調査業務の選定は、担当係長（監督員）が決定する。

6 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、評価項目細別ごとに以下の配点とする。

評価項目細別の配点

評価項目		細別	測量業務、地質調査業務、単純調査業務、 調査業務及び計画業務、概略設計及び予備設計、詳細設計			
			業務評定	技術者評定(注1)		
				管理技術者	担当技術者	照査技術者
プロセス評価	1. 実施能力の評価	I. 実施体制及び 執行計画	20	20	5	—
	2. 実施状況の評価	I. 執行管理	5	5	5	—
		II. 品質管理	20	20	30	50
		III. 業務特性	10	10	12.5	—
		IV. 創意工夫	4	4	4	—
	3. 説明調整能力の評価	I. 説明調整能力	6	6	6	—
	4. 取組姿勢	I. 責任感・積極 性・倫理観	5	5	7.5	—
結果評価	5. 結果の評価	I. 成果品の品質	30	30	30	50
小 計			100	100	100	100

注) 1 技術者評定は、監督員の確認を受けた上で業務実績情報として登録された技術者を評定の対象とする。

7 採点表

(1)測量業務

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5	
1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順、手法であり、他の手本となる優れたものである。 ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 県内在住の技術者が配置されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。 ☐ 9. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 ☐ 10.その他() (対象: 管理、担当技術者)										
					評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c							
					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()							

(1)測量業務

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	a	a'	b	b'	c	d	e
				5	－	2.5	－	0	-2.5	-5
2. 実施状況の評価	I. 執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後14日以内に提出されている。 ☐ 2. 契約締結後14日(休日等除く)以内に業務等に着手している。 ☐ 3. TECRISまたはAGRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上で契約締結後15日(休日等除く)以内に行っている。 ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ 6. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ 7. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ 8. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ 9. 業務工程表は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 執行管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。								

3/204/20

(1)測量業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	—	5	—	0	—5	—10
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	—	14	—	0	—14	—28

2. 実施状況の評価

II. 品質管理 (2/2)

●評価対象項目

☐

13. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。

☐

14. 設計図書に示す設計事項と照合して資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て資料収集を実施している。

☐

15.その他〔

(対象:管理、担当技術者)

評価値が90%以上・・・・ a

評価値が70%以上90%未満・・・b

評価値が70%未満・・・・ c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()

(1)測量業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	—	—

2. 実施状況の評価

IV. 創意工夫 (1/1)

●評価対象項目

☐

1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされている。

☐

2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。

☐

3. 品質管理のための具体的な取り組みの提案や照査体制が構築され、有効的に機能していることが確認できた。

☐

4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ分かりやすい。

☐

5. 当該業務においてDX推進の取り組みを実施している。

☐

6. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。

具体記述()

◎判断基準

評価項目数が5以上・・・・ a

評価項目数が4・・・・ a'

評価項目数が3・・・・ b

評価項目数が1又は2・・・・ b'

評価項目数が0・・・・ c

●評価点

* 業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。

(1)測量業務

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (1/2)	●評価対象項目									
		☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ 6. 測量業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成を行ったり、協議に参加して円滑な協議遂行に寄与する等貢献している。 ☐ 8. 関係官公庁等への手続きや地元関係者との交渉の状況が遅滞なく報告されている。 ☐ 9. 受注者が行う地元関係者への説明や交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ 10. 車両の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ 11.その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)									
									☐ 説明調整につ いて、監督員 が文書で改善 指示を行っ た。	☐ 説明調整につ いて、監督員 の文書による 改善指示に従 わなかった。	

(1)測量業務

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (2/2)										
		評価値が90%以上…… a 評価値が70%以上90%未満…b 評価値が70%未満…… c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

(1)測量業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	－	6	－	0	－6	－12
5. 結果の 評価	1. 成果 品の品質 (1/2)			●評価対象項目 ☐ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。 ☐ 2. 現地確認の結果が、写真等により的確に整理されている。 ☐ ☐ 3. 写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ☐ 4. 測量結果のとりまとめにおいて、ほとんどミスがなかった。 ☐ 5. 測量結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 ☐ ☐ 6. 多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し、必要な作業(業務)成果が得られた。 ☐ 7. 業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。 ☐ 8. 業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ ☐ 9. その他[]						☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。

(1)測量業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	－	5	－	0	－5	－10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	－	6	－	0	－6	－12	
5. 結果の 評価	1. 成果 品の品質 (2/2)	①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()										

(1)測量業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当課長)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	Ⅰ. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 2. 管理技術者は、関連業務の受注者と積極的かつ主導的に協議を行い、相互に協力しながら業務を行っている。 ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ 5. その他[] ◎判断基準 評価項目数が4以上・・・ a 評価項目数が3・・・ a' 評価項目数が2・・・ b 評価項目数が1・・・ b' 評価項目数が0・・・ c ※業務執行上の過失として監督員細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし、理由を記載すること。 ☐ 監督員細別評価項目d評価に該当 理由 [] ☐ 監督員細別評価項目e評価に該当 理由 [] ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。									

(1)測量業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当課長)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。 ☐ 2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。 ☐ 3. 厳しい自然、条件への対応が評価できる。 ☐ 4. 業務の特殊性への対応が評価できる。 ☐ 5. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。 ☐ 6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。 ☐ 7. その他[]									

(1)測量業務

令和○年度 ○○委託業務
(担当課長)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	～	～
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	～	～

2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (2/2)	◎判断基準	
		評価項目数が5以上・・・ a	
		評価項目数が4・・・ a'	
		評価項目数が3・・・ b	
		評価項目数が1又は2・・・ b'	
		評価項目数が0・・・ c	
		●評価点	●評価点
		* 業務評定、管理技術者の評価に反映。	* 担当技術者の評価に反映。

(1)測量業務

令和○年度 ○○委託業務
(担当課長)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	～	～
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					15	12	7.5	4	0	～	～
4. 取組姿勢	1. 責任感・積極性・倫理観 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		☐ 1. 当該業務に従事した技術者の技術研鑽に企業として積極的に取り組んでいる。 ☐ 2. 当該業務遂行にあたって、取り組みへの責任感・積極性が評価できるものであった。 ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により業務を完成させた。 ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。 ☐ 5. その他〔									

項目	事故等による減点／瑕疵修補又は損害賠償による減点／その他								
6. 事故等による減点等	※減点はマイナス入力 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>減点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）</td><td>点</td></tr> <tr> <td>2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）</td><td>点</td></tr> <tr> <td>3. その他（ ）</td><td>点</td></tr> </tbody> </table>	項目	減点	1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）	点	2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）	点	3. その他（ ）	点
項目	減点								
1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）	点								
2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）	点								
3. その他（ ）	点								

調査項目	細 別	選択区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				10	-	5	-	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	1. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。 ☐ 2. 業務計画書が契約締結後14日(休日等を含む)以内に提出されている。 ☐ 3. 業務計画書は、必要な事項について、本業務に即した内容で記載されている。また、重要な内容を変更する場合は、その都度監督員に変更業務計画書を提出している。 ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の検討項目を満足している。 ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による表現など工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ 6. 業務計画書の記載内容と測量方法が一致し、現地環境を乱さず測量していることが確認できる。 ☐ 7. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導・管理を行っている。 ☐ 8. 守秘義務について具体的な計画を業務計画書等に記載している。 ☐ 9. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載されている。 ☐ 10. 現場状況に応じた作業員の安全活動や事故防止活動等の安全管理対策が確認できる。 ☐ 11. その他〔 〕 ☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。								

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()

評価値が90%以上・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満・・・・b

評価値が70%未満・・・・・・ c

(1)測量業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	－	10	－	0	－10	－20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	－	6	－	0	－6	－12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 設計図書の内容が十分に把握されている。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☐ 6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 7. その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)									

(1)測量業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	—	5	—	0	—5	—10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	—	10	—	0	—10	—20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	—	6	—	0	—6	—12
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	評価値が90%以上…… a 評価値が70%以上90%未満…… b 評価値が70%未満…… c									①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'					
					20	20	10	10	0	0	-10	-10	-20	-20					
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'					
				28	28	14	14	0	0	-14	-14	-28	-28						

5. 結果の 評価	I. 成果 品の品質 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)												☐ 成果品について、監督員が 文書で改善指 示を行った。	☐ 成果品について、監督員の 文書による改 善指示に従わ なかった。
		☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典が整理され、分かりやすく成果に記載されている。 ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。 ☐ 4. 測量の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ 5. 作業(業務)遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 6. 必要書類等が整備されていた。 ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどがほとんど認められない。 ☐ 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなど分かりやすい成果となっている。 ☐ 10. 全体的な構成や説明の流れが、業務の目的と成果への導きとして適切、わかりやすくとまとめられている。													

審査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	－	10	－	0	－10	－20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
5. 結果の評価	I. 成果品の品質 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☐ 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ 13. 成果品には、測量精度向上に繋がる工夫が見られる。 ☐ 14. 業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ ☐ 15.その他[]										
		評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・ c									①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()	

(2)地質調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5
1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順、手法であり、他の手本となる優れたものである。 ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 県内在住の技術者が配置されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。 ☐ 9. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 ☐ 10.その他() (対象: 管理、担当技術者)									
					評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c						
					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()						

(2)地質調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5	
2. 実施状況の評価	1. 執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										
		☐ 1. 業務工程表は、契約締結後14日以内に提出されている。 ☐ 2. 契約締結後14日(休日等除く)以内に業務等に着手している。 ☐ 3. TECRISまたはAGRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上で契約締結後15日(休日等除く)以内に行っている。 ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ 9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ 10. 業務工程表は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ 11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 執行管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。										

(2)地質調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5	
2. 実施状況の評価	I. 執行 管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										
		☐ ☐ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地への立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 15. 交付を受けた身分証明書は、業務工期中に返却されている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 ☐ ☐ 20. 業務遂行段階で地域の特性や現場条件を考慮した提案がなされた。 ☐ ☐ 21.その他〔 (対象: 管理、担当技術者) 〕										
					評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c							

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()

(2)地質調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
					照査技術者	a	a'	b	b'	c	d
					28	－	14	－	0	－14	－28

2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目							☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ 2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に監督員の確認を得ている。 ☐ ☐ 3. 技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 4. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。調査地点の確認に関しては、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 5. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 6. 過年度の打合せ経緯や業務成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 7. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 8. 管理技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。 ☐ ☐ 9. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 10. 調査の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 11. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 12. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。								

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	—	5	—	0	—5	—10	
					a	a'	b	b'	c	d	e	
				照査技術者	28	—	14	—	0	—14	—28	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	●評価対象項目										
		☐ 13. 設計図書に示す設計事項と照合して資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て資料収集を実施している。 ☐ 14. その他〔 〕(対象:管理、担当技術者) 評価値が90%以上・…… a 評価値が70%以上90%未満・…b 評価値が70%未満・…… c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()										

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					4	3	2	1	0	—	—	
2. 実施状況の評価	IV. 創意工夫 (1/1)	●評価対象項目										
		☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ 3. 品質管理のための具体的な取り組みの提案や照査体制が構築され、有効的に機能していることが確認できた。 ☐ 4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ分かりやすい。 ☐ 5. 当該業務においてDX推進の取り組みを実施している。 ☐ 6. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述() ◎判断基準 評価項目数が5以上・…… a 評価項目数が4・…… a' 評価項目数が3・…… b 評価項目数が1又は2・… b' 評価項目数が0・…… c ●評価点 * 業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。										

(2)地質調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				6	－	3	－	0	－3	－6	
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (1/2)	●評価対象項目									
		☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ 6. 地質・土質調査業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成を行ったり、協議に参加して円滑な協議遂行に寄与する等貢献している。 ☐ 8. 関係官公庁等への手続きや地元関係者との交渉の状況が遅滞なく報告されている。 ☐ 9. 受注者が行う地元関係者への説明や交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ 10. 車両の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ 11.その他[](対象:管理、担当技術者)									☐ 説明調整につ いて、監督員 が文書で改善 指示を行っ た。

(2)地質調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

9/20

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	Ⅰ. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 2. 管理技術者は、関連業務の受注者と積極的かつ主導的に協議を行い、相互に協力しながら業務を行っている。 ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ 5. その他[] ◎判断基準 評価項目数が4以上・・・ a 評価項目数が3・・・ a' 評価項目数が2・・・ b 評価項目数が1・・・ b' 評価項目数が0・・・ c ※業務執行上の過失として監督員細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし、理由を記載すること。 ☐ 監督員細別評価項目d評価に該当 理由 [] ☐ 監督員細別評価項目e評価に該当 理由 [] ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。									

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。 ☐ 2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。 ☐ 3. 厳しい自然、条件への対応が評価できる。 ☐ 4. 業務の特殊性への対応が評価できる。 ☐ 5. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。 ☐ 6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。 ☐ 7. その他[]									

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
						20		15		10		7.5		0		-		-	
						a		a'		b		b'		c		d		e	
						担当技術者		25		19		12.5		7		0		-	
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (2/2)			◎判断基準															
				評価項目数が5以上・・・ a															
				評価項目数が4・・・ a'															
				評価項目数が3・・・ b															
				評価項目数が1又は2・・・ b'															
				評価項目数が0・・・ c															
				●評価点															
				●評価点															
				[]				[]											
				* 業務評定、管理技術者の評価に反映。				* 担当技術者の評価に反映。											

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者		a	a'	b	b'	c	d	e							
				担当技術者															
4. 取組姿勢	Ⅰ. 責任感・積極性・倫理観 (1/1)					10	7.5	5	2.5	0	-	-							
						a	a'	b	b'	c	d	e							
						15	12	7.5	4	0	-	-							
●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 当該業務に従事した技術者の技術研鑽に企業として積極的に取り組んでいる。 ☐ 2. 当該業務遂行にあたって、取り組みへの責任感・積極性が評価できるものであった。 ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により業務を完成させた。 ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。 ☐ 5. その他〔 〕 ◎判断基準 評価項目数が4以上・・・ a 評価項目数が3・・・ a' 評価項目数が2・・・ b 評価項目数が1・・・ b' 評価項目数が0・・・ c ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。																			
●評価点 * 担当技術者の評価に反映。																			

項目	事故等による減点／瑕疵修補又は損害賠償による減点／その他								
6. 事故等による減点等	※減点はマイナス入力 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>減点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）</td><td>点</td></tr> <tr> <td>2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）</td><td>点</td></tr> <tr> <td>3. その他（ ）</td><td>点</td></tr> </tbody> </table>	項目	減点	1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）	点	2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）	点	3. その他（ ）	点
項目	減点								
1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）	点								
2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）	点								
3. その他（ ）	点								

調査項目	細 別	選択 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				10	-	5	-	0	-5	-10
1.実施能 力の評価	1.実施体 制と執行計 画（1/1）	●評価対象項目 (選択)（評定）			☐ ☐ 1. 管理技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。 ☐ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後14日(休日等を含む)以内に提出されている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書は、必要な事項について、本業務に即した内容で記載されている。また、重要な内容を変更する場合は、その都度監督員に変更業務計画書を提出している。 ☐ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の検討項目を満足している。 ☐ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による表現など工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 業務計画書の記載内容と調査方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。 ☐ ☐ 7. 再委託に付した場合、書面により協力者ととの契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導・管理を行っている。 ☐ ☐ 8. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載されている。 ☐ ☐ 9. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載されている。 ☐ ☐ 10. 現場状況に応じた作業員の安全活動や事故防止活動等の安全管理対策が確認できる。 ☐ ☐ 11.その他〔 〕 ☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。					
		評価値が90%以上・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・ b 評価値が70%未満・・・ c								①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()

(2)地質調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	-	10	-	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	-	6	-	0	-6	-12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員が文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 設計図書の内容が十分に把握されている。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☐ 6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 7. その他〔 〕〔対象:管理、担当技術者〕									

(2)地質調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	－	10	－	0	－10	－20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	－	6	－	0	－6	－12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

審査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者		a'		b'		c'		d'		e'	
				a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'		
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	
				20	-	10	-	0	-10	-20					
				28	-	14	-	0	-14	-28					

5. 結果の評価	I. 成果品の品質 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典が整理され、分かりやすく成果に記載されている。 ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。 ☐ 4. 現地踏査の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ 5. 作業(業務)遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 6. 必要書類等も整備されていた。 ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどがほとんど認められない。 ☐ 8. 理解しやすい文章表現などがなく、分かりやすい成果となっている。 ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなど分かりやすい成果となっている。 ☐ 10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切、分かりやすくとりまとめられている。											

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	－	10	－	0	－10	－20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	－	14	－	0	－14	－28	
5. 結果の 評価	1. 成果 品の品質 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										
		☐ ☐ 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☐ 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ 13. 成果品には、調査精度向上に繋がる工夫が見られる。 ☐ 14. 業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ ☐ 15.その他[] 評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()										

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
1. 実施能力の評価	1. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順、手法であり、他の手本となる優れたものである。 ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 県内在住の技術者が配置されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。 ☐ 9. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 ☐ 10.その他() (対象: 管理、担当技術者)									
					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()						

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
2. 実施状況の評価	1. 執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務工程表は、契約締結後14日以内に提出されている。 ☐ 2. 契約締結後14日(休日等除く)以内に業務等に着手している。 ☐ 3. TECRISまたはAGRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上で契約締結後15日(休日等除く)以内に行っている。 ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ 9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ 10. 業務工程表は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ 11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。									

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5		
2. 実施状況の評価	I. 執行管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)											
		☐ ☐ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 15. 交付を受けた身分証明書は、業務工期中に返却されている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 ☐ ☐ 20. 業務遂行段階で地域の特性や現場条件を考慮した提案がなされた。 ☐ ☐ 21.その他〔 〕(対象: 管理、担当技術者)											
					評価値が90%以上・・・・ a								
					評価値が70%以上90%未満・・・b								
					評価値が70%未満・・・・・・・ c								
					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()								

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者		a'		b		b'		c		d		e	
				10		-		5		-		0		-5		-10	
				照査技術者		a		a'		b		b'		c		d	
				28		-		14		-		0		-14		-28	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目															
		☐ 1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ 2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に監督員の確認を得ている。 ☐ ☐ 3. 技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 4. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。調査地点の確認に関しては、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得ている。 ☐ 5. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 6. 過年度の打合せ経緯や業務成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 7. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 8. 管理技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。 ☐ ☐ 9. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 10. 調査の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 11. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ 12. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 ☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 品質管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。															

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分								
				業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				28	-	14	-	0	-14	-28	

2. 実施状況の評価	Ⅱ. 品質管理 (2/2)	●評価対象項目								
		☐ ☐ 13. 設計図書に示す設計事項と照合して資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て資料収集を実施している。 ☐ ☐ 14.その他〔 〕(対象：管理、担当技術者)								
		評価値が90%以上…………… a 評価値が70%以上90%未満……b 評価値が70%未満…………… c ①「評価対象項目」のうち、「選択」のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()÷評価対象項目数()								

審査項目	細 別	選択	業務、管理、	b	b'	c	d	e		
		区分	担当技術者							
2. 実施状況の評価	IV. 創意工夫 (1/1)			4	3	2	1	0	—	—
●評価対象項目										
☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ 3. 品質管理のための具体的な取り組みの提案や照査体制が構築され、有効的に機能していることが確認できた。 ☐ 4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ分かりやすい。 ☐ 5. 当該業務においてDX推進の取り組みを実施している。 ☐ 6. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述()										
◎判断基準										
評価項目数が5以上・・・ a										
評価項目数が4・・・ a'										
評価項目数が3・・・ b										
評価項目数が1又は2・・・ b'										
評価項目数が0・・・ c										
●評価点										
* 業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。										

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 評価 区分	a	a'	b	b'	c	d	e	
										6
3. 説明調整能力の評価	I. 説明調整能力(1/2)	●評価対象項目							☐ 説明調整について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 説明調整について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ 6. 調査業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成を行ったり、協議に参加して円滑な協議遂行に寄与する等貢献している。 ☐ 8. 地元説明会に参加し、説明会の運営等に貢献した。 ☐ 9. 地域における問題点や課題に精通し、地元要望や意見を取り入れるなど地元住民との合意形成を図る努力が行われた。 ☐ 10. 関係官公庁等への手続きや地元関係者との交渉の状況が遅滞なく報告されている。 ☐ 11. 受注者が行う地元関係者への説明や交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ 12. 車両の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ 13.その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)								

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

9/20

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当課長)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	Ⅰ. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 2. 管理技術者は、関連業務の受注者と積極的かつ主導的に協議を行い、相互に協力しながら業務を行っている。 ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ 5. その他[] ◎判断基準 評価項目数が4以上・・・ a 評価項目数が3・・・ a' 評価項目数が2・・・ b 評価項目数が1・・・ b' 評価項目数が0・・・ c ※業務執行上の過失として監督員細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし、理由を記載すること。 ☐ 監督員細別評価項目d評価に該当 理由 [] ☐ 監督員細別評価項目e評価に該当 理由 [] ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。									

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当課長)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	-	-
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。 ☐ 2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。 ☐ 3. 厳しい自然、条件への対応が評価できる。 ☐ 4. 業務の特殊性への対応が評価できる。 ☐ 5. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。 ☐ 6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。 ☐ 7. その他[]									

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当課長)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				担当技術者	20	15	10	7.5	0	－	－
					a	a'	b	b'	c	d	e
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (2/2)			担当技術者	25	19	12.5	7	0	－	－
◎判断基準 評価項目数が5以上・・・ a 評価項目数が4・・・ a' 評価項目数が3・・・ b 評価項目数が1又は2・・・ b' 評価項目数が0・・・ c ●評価点 ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。 * 担当技術者の評価に反映。											

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当課長)

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				担当技術者	10	7.5	5	2.5	0	－	－
					a	a'	b	b'	c	d	e
4. 取組姿勢	1. 責任感・積極性・倫理観 (1/1)			担当技術者	15	12	7.5	4	0	－	－
●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 当該業務に従事した技術者の技術研鑽に企業として積極的に取り組んでいる。 ☐ 2. 当該業務遂行にあたって、取り組みへの責任感・積極性が評価できるものであった。 ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により業務を完成させた。 ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。 ☐ 5. その他[] ◎判断基準 評価項目数が4以上・・・ a 評価項目数が3・・・ a' 評価項目数が2・・・ b 評価項目数が1・・・ b' 評価項目数が0・・・ c ●評価点 ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。 * 担当技術者の評価に反映。											

項目	事故等による減点／瑕疵修補又は損害賠償による減点／その他								
6. 事故等による減点等	※減点はマイナス入力 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>減点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）</td><td>点</td></tr> <tr> <td>2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）</td><td>点</td></tr> <tr> <td>3. その他（ ）</td><td>点</td></tr> </tbody> </table>	項目	減点	1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）	点	2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）	点	3. その他（ ）	点
項目	減点								
1. 事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）	点								
2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）	点								
3. その他（ ）	点								

調査項目	細 別	選択区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 実施能力の評価	1. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)		10	-	5	-	0	-5	-10
		☐ ☐ 1. 管理技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。 ☐ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後14日(休日等を含む)以内に提出されている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書は、必要な事項について、本業務に即した内容で記載されている。また、重要な内容を変更する場合は、その都度監督員に変更業務計画書を提出している。 ☐ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書を検討項目を満足している。 ☐ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による表現など工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 業務計画書の記載内容と調査方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。 ☐ ☐ 7. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導・管理を行っている。 ☐ ☐ 8. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載されている。 ☐ ☐ 9. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載されている。 ☐ ☐ 10. 現場状況に応じた作業員の安全活動や事故防止活動等の安全管理対策が確認できる。 ☐ ☐ 11. その他〔 〕	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。						

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()

評価値が90%以上・・・・・・ a

評価値が70%以上90%未満・・・b

評価値が70%未満・・・・・・・・ c

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	－5	－10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	－	10	－	0	－10	－20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	－	6	－	0	－6	－12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 設計図書の内容が十分に把握されている。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☐ 6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 7. その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)									

(3)単純調査業務

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				10	—	5	—	0	−5	−10		
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				20	—	10	—	0	−10	−20		
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				12	—	6	—	0	−6	−12		
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()										

審査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者		a'		b'		c'		d'		e'	
				a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'		
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	
				20	-	10	-	0	-10	-20					
				28	-	14	-	0	-14	-28					
5. 結果の評価	I. 成果品の品質 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。		
		☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典が整理され、分かりやすく成果に記載されている。 ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。 ☐ 4. 現地踏査の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ 5. 作業(業務)遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 6. 必要書類等も整備されていた。 ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどがほとんど認められない。 ☐ 8. 理解しやすい文章表現などがなく、分かりやすい成果となっている。 ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなど分かりやすい成果となっている。 ☐ 10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切、分かりやすくとまとめられている。													

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
				20		-		10		-		0		-10		-20			
				a		a'		b		b'		c		d		e			
5. 結果の 評価	1. 成果 品の品質 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)																	
		☐☐ 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☐ 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ 13. 成果品には、調査精度向上に繋がる工夫が見られる。 ☐☐ 14. 業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐☐ 15.その他[]																	
		評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・ c																	
		①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()																	

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5
1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順、手法であり、他の手本となる優れたものである。 ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 県内在住の技術者が配置されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。 ☐ 9. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 ☐ 10.その他() (対象: 管理、担当技術者)									
					評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c						
					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()						

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
			5	—	2.5	—	0	~2.5	~5		
2. 実施状況の評価	1. 執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後14日以内に提出されている。 ☐ 2. 契約締結後14日(休日等除く)以内に調査・計画業務等に着手している。 ☐ 3. TECRISまたはAGRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上で契約締結後15日(休日等除く)以内に行っている。 ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ 9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ 10. 業務工程表は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ 11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 執行管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。									

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5	
2. 実施状況の評価	Ⅰ. 執行管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										
		☐ ☐ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 15. 交付を受けた身分証明書は、業務工期中に返却されている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 ☐ ☐ 20. 業務遂行段階で地域の特性や現場条件を考慮した提案がなされた。 ☐ ☐ 21.その他[(対象: 管理、担当技術者)] 評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() <td></td> <td></td>										

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
				10		7.5		5		2.5		0		-5		-10			
				照査技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
				28		21		14		7		0		-14		-28			
2. 実施状況の評価	Ⅱ. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目												☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。				
		☐ ☐ 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 3. 現地の状況に対応した調査方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ☐ ☐ 4. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に監督員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 6. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ ☐ 7. 計算、集計整理、データ作成、図面等の内容が、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 8. 業務の実施にあたり、現地踏査等を行い現地の状況を把握している。 ☐ ☐ 9. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 10. 設計図書に示す設計事項と照合して資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て資料収集を実施している。 ☐ ☐ 11. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 12. 過年度の打合せ経緯や業務成果を踏まえた成果となっている。																	

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
						10		7.5		5		2.5		0		-5		-10	
				照査技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
				28		21		14		7		0				-14		-28	
2. 実施状況の評価	II. 品質 管理 (2/2)	●評価対象項目																	
		☐ ☐ 13. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 14. 当該業務における調査・計画の留意点が、調査・計画方法の内容に考慮される確に提案されている。 ☐ ☐ 15. 業務成果のとりまとめ、集計整理が、設計図書に定める又は監督員の指示する業務の節目毎に、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 16. 事業特性、地域特性等が、調査、予測及び照査の手法の選定に考慮されているかの評価が適正に行われている。 ☐ ☐ 17. 評価項目の選定について、適切な評価項目が提案され、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 18. 調査結果等の解析が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 19.その他() (対象:管理、担当技術者) 評価値が90%以上・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・・b' 評価値が60%未満・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()																	

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	—	—
2. 実施状況の評価	IV. 創意工夫 (1/1)	●評価対象項目									
		☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ 3. 品質管理のための具体的な取り組みの提案や照査体制が構築され、有効的に機能していることが確認できた。 ☐ 4. 当該業務においてDX推進の取り組みを実施している。 ☐ 5. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述() ◎判断基準 評価項目数が5・…… a 評価項目数が4・…… a' 評価項目数が3・…… b 評価項目数が1又は2・… b' 評価項目数が0・…… c ●評価点 * 業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。									

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					6	-	3	-	0	-3	-6	
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (1/2)	●評価対象項目									☐ 説明調整につ いて、監督員 が文書で改善 指示を行っ た。	☐ 説明調整につ いて、監督員 の文書による 改善指示に従 わなかった。
		☐ 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ 3. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ 4. 業務を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成を行ったり、協議に参加して円滑な協議進行に寄与する等貢献している。 ☐ 6. 関係官公庁等への手続きや地元関係者との交渉の状況が遅滞なく報告されている。 ☐ 7. 受注者が行う地元関係者への説明や交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ 8. 地元説明会に参加し、説明会の運営等に貢献した。 ☐ 9. 地域における問題点や課題に精通し、地元要望や意見を取り入れるなど地元住民との合意形成を図る努力が行われた。 ☐ 10. 車両の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ 11.その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)										

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

9/2010/20

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和○年度 ○○委託業務
(担当課長)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	Ⅰ. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。									
		☐ 2. 管理技術者は、関連業務の受注者と積極的かつ主導的に協議を行い、相互に協力しながら業務を行っている。									
		☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。									
		☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。									
		☐ 5. その他[]									
		◎判断基準									
		評価項目数が4以上・・・ a									
		評価項目数が3・・・ a'									
		評価項目数が2・・・ b									
評価項目数が1・・・ b'											
評価項目数が0・・・ c											
※業務執行上の過失として監督員細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし、理由を記載すること。											
☐ 監督員細別評価項目d評価に該当											
理由 []											
☐ 監督員細別評価項目e評価に該当											
理由 []											
●評価点											
* 業務評定、管理技術者の評価に反映。											

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和○年度 ○○委託業務
(担当課長)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-
					a	a'	b	b'	c	d	e
					担当技術者	25	19	12.5	7	0	-
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		Ⅰ 設計条件への対応									
		☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。									
		☐ 2. 調査・計画条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が評価できる。									
		☐ 3. 調査・計画条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。									
		☐ 4. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。									
		☐ 5. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。									
		☐ 6. その他[]									
		Ⅱ 高度な技術力への対応									
		☐ 1. 業務成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる。									
☐ 2. 委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。											
☐ 3. その他[]											
Ⅲ 地域への対応											
☐ 1. 地域への特性や気候風土、ニーズ等を把握し、計画設計に反映できていた。											
☐ 2. 地元要望に対応したきめ細やかな配慮がなされていた。											
☐ 3. 地域特性を考慮し、将来の維持管理・更新に配慮した提案・設計が行われた。											
☐ 4. 県産品を使用する提案や設計が行われた。											

考査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
				管理技術者	20	15	10	7.5	0	-	-
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	-	-
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (2/2)	◎判断基準 評価項目数が7以上・・・・ a 評価項目数が5以上7未満・・・ a' 評価項目数が3以上5未満・・・ b 評価項目数が1以上3未満・・・ b' 評価項目数が0・・・・・・・ c									
		●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。					●評価点 * 担当技術者の評価に反映。				

考查項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者						
				a	a'	b	b'	c	d	e
				10	7.5	5	2.5	0	-	-
				a	a'	b	b'	c	d	e
				15	12	7.5	4	0	-	-

4. 取組姿勢	1. 責任感・積極性・倫理観 (1/1)	●評価対象項目						
		(選択) (評定)						
		☐ 1. 当該業務に従事した技術者の技術研鑽に企業として積極的に取り組んでいる。						
		☐ 2. 当該業務遂行にあたって、取り組みへの責任感・積極性が評価できるものであった。						
		☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により業務を完成させた。						
		☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあつた。						
		☐ 5. その他[]						
		◎判断基準						
		評価項目数が4以上・・・ a						
		評価項目数が3・・・・ a'						
評価項目数が2・・・・ b								
評価項目数が1・・・・ b'								
評価項目数が0・・・・ c								
		●評価点				●評価点		
＊業務評定、管理技術者の評価に反映。				＊担当技術者の評価に反映。				

調査項目	事故等による減点／瑕疵修補又は損害賠償による減点／その他								
6. 事故等による減点等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">項目</th> <th style="width: 40%;">減点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)</td> <td style="text-align: center;">点</td> </tr> <tr> <td>2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)</td> <td style="text-align: center;">点</td> </tr> <tr> <td>3. その他()</td> <td style="text-align: center;">点</td> </tr> </tbody> </table>	項目	減点	1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)	点	2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)	点	3. その他()	点
	項目	減点							
	1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)	点							
	2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)	点							
3. その他()	点								
※減点はマイナス入力									

調査項目	細 別	選評 区分	業務、 管理技術者	a'	b'	c'	d'	e'	
				10	-	5	-	0	-5
1. 実施能力の評価	1. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 ☐ 2. 業務計画書が契約締結後14日(休日等を含む)以内に提出されている。 ☐ 3. 業務計画書は、必要な事項について、本業務に即した内容で記載されている。また、重要な内容を変更する場合は、その都度監督員に変更業務計画書を提出している。 ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書を検討項目を満足している。 ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による表現など工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ 6. 業務計画書の記載内容と調査方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。 ☐ 7. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導・管理を行っている。 ☐ 8. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載されている。 ☐ 9. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載されている。 ☐ 10. 現場状況に応じた作業員の安全活動や事故防止活動等の安全管理対策が確認できる。 ☐ 11. その他[]						☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		評価値が90%以上…… a 評価値が70%以上90%未満…… b 評価値が70%未満…… c						①「評価対象項目」のうち、「選択」のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()	

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	9	6	3	0	-6	-12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 設計図書の内容が十分に把握されている。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☐ 6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 7. その他[](対象:管理、担当技術者)									

(4)調査業務及び計画業務(調査業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	15	10	5	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	9	6	3	0	-6	-12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()										

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	21	14	7	0	-14	-28
5. 結果の 評価	1. 成果 品の品質 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典が整理され、分かりやすく成果に記載されている。 ☐ 3. 調査・計画時の配慮事項やポイント、品質を高めるための提案が、引き継ぎ事項として整理されている。 ☐ 4. 現地踏査の結果で判明した調査、計画上対応が必要な事項について、その対策が記載されている。 ☐ 5. 業務遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 6. 誤字・脱漏、記載ミスなどがほとんど認められない。 ☐ 7. 理解しやすい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 ☐ 8. 個々の説明において、図や表を活用するなど分かりやすい説明となっている。 ☐ 9. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☐ 10. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。								☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	21	14	7	0	-14	-28
5. 結果の 評価	1. 成果 品の品質 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 11. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ 12. 業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ 13.その他]									
				評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・ c							
				①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()							

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5
1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順、手法であり、他の手本となる優れたものである。 ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 県内在住の技術者が配置されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。 ☐ 9. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 ☐ 10.その他() (対象: 管理、担当技術者)									
					評価値が90%以上..... a 評価値が70%以上90%未満... b 評価値が70%未満..... c						
					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()						

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

審査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
			5	—	2.5	—	0	~2.5	~5		
2. 実施状況の評価	1. 執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後14日以内に提出されている。 ☐ 2. 契約締結後14日(休日等除く)以内に調査・計画業務等に着手している。 ☐ 3. TECRISまたはAGRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上で契約締結後15日(休日等除く)以内に行っている。 ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ 9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ 10. 業務工程表は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ 11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 執行管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。									

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	-	2.5	-	0	-2.5	-5	
2. 実施状況の評価	Ⅰ. 執行 管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										
		☐ ☐ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 15. 交付を受けた身分証明書は、業務工期中に返却されている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 ☐ ☐ 20. 業務遂行段階で地域の特性や現場条件を考慮した提案がなされた。 ☐ ☐ 21.その他[](対象: 管理、担当技術者)										
					評価値が90%以上・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・ b 評価値が70%未満・・・ c							

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
						10		7.5		5		2.5		0		-5		-10	
				照査技術者		a		a'		b		b'		c		d		e	
						28		21		14		7		0		-14		-28	
2. 実施状況の評価	Ⅱ. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目																	
		☐☐ 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐☐ 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐☐ 3. 現地の状況に対応した調査方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ☐☐ 4. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ☐☐ 5. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に監督員の承諾を得ている。 ☐☐ 6. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐☐ 7. 計算、集計整理、データ作成、図面等の内容が、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐☐ 8. 業務の実施にあたり、現地踏査等を行い現地の状況を把握している。 ☐☐ 9. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得て実施している。 ☐☐ 10. 設計図書に示す設計事項と照合して資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て資料収集を実施している。 ☐☐ 11. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ☐☐ 12. 過年度の打合せ経緯や業務成果を踏まえた成果となっている。 ☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 品質管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。																	

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10		
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					28	21	14	7	0	-14	-28		
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	●評価対象項目											
		☐ ☐ 13. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 14. 当該業務における調査・計画の留意点が、調査・計画方法の内容に考慮される確に提案されている。 ☐ ☐ 15. 業務成果のとりまとめ、集計整理が、設計図書に定める又は監督員の指示する業務の節目毎に、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 16. 事業特性、地域特性等が、調査、予測及び照査の手法の選定に考慮されているかの評価が適正に行われている。 ☐ ☐ 17. 評価項目の選定について、適切な評価項目が提案され、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 18. 調査結果等の解析が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 19.その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)											
				評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

2. 実施状況の評価	細 別	選択区分	業務、管理、担当技術者					c	d	e
			a	a'	b	b'				
			4	3	2	1	0	—	—	
2. 実施状況の評価	IV. 創意工夫 (1/1)	●評価対象項目								
		☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。								
		☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。								
		☐ 3. 品質管理のための具体的な取り組みの提案や照査体制が構築され、有効的に機能していることが確認できた。								
		☐ 4. 当該業務においてDX推進の取り組みを実施している。								
			☐ 5. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述()							
			◎判断基準							
			評価項目数が5・…… a							
			評価項目数が4・…… a'							
			評価項目数が3・…… b							
			評価項目数が1又は2・… b'							
			評価項目数が0・…… c							
			●評価点							
			* 業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。							

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和〇年度　〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					6	-	3	-	0	-3	-6	
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (1/2)	●評価対象項目									☐ 説明調整につ いて、監督員 が文書で改善 指示を行っ た。	☐ 説明調整につ いて、監督員 の文書による 改善指示に従 わなかった。
		☐ 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ 3. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ 4. 業務を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成を行ったり、協議に参加して円滑な協議進行に寄与する等貢献している。 ☐ 6. 関係官公庁等への手続きや地元関係者との交渉の状況が遅滞なく報告されている。 ☐ 7. 受注者が行う地元関係者への説明や交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ 8. 地元説明会に参加し、説明会の運営等に貢献した。 ☐ 9. 地域における問題点や課題に精通し、地元要望や意見を取り入れるなど地元住民との合意形成を図る努力が行われた。 ☐ 10. 車両の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ 11.その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)										

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和〇年度　〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	-	3	-	0	-3	-6
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

9/2010/20

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和○年度 ○○委託業務
(担当課長)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	Ⅰ. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。									
		☐ 2. 管理技術者は、関連業務の受注者と積極的かつ主導的に協議を行い、相互に協力しながら業務を行っている。									
		☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。									
		☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。									
		☐ 5. その他[]									
		◎判断基準									
		評価項目数が4以上・・・ a									
		評価項目数が3・・・ a'									
		評価項目数が2・・・ b									
評価項目数が1・・・ b'											
評価項目数が0・・・ c											
※業務執行上の過失として監督員細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし、理由を記載すること。											
☐ 監督員細別評価項目d評価に該当											
理由 []											
☐ 監督員細別評価項目e評価に該当											
理由 []											
●評価点											
* 業務評定、管理技術者の評価に反映。											

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和○年度 ○○委託業務
(担当課長)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-
					a	a'	b	b'	c	d	e
					担当技術者	25	19	12.5	7	0	-
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		Ⅰ 設計条件への対応									
		☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。									
		☐ 2. 調査・計画条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が評価できる。									
		☐ 3. 調査・計画条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。									
		☐ 4. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。									
		☐ 5. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。									
		☐ 6. その他[]									
		Ⅱ 高度な技術力への対応									
		☐ 1. 業務成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる。									
☐ 2. 委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。											
☐ 3. その他[]											
Ⅲ 地域への対応											
☐ 1. 地域への特性や気候風土、ニーズ等を把握し、計画設計に反映できていた。											
☐ 2. 地元要望に対応したきめ細やかな配慮がなされていた。											
☐ 3. 地域特性を考慮し、将来の維持管理・更新に配慮した提案・設計が行われた。											
☐ 4. 県産品を使用する提案や設計が行われた。											

調査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
				管理技術者	20	15	10	7.5	0	-	-
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	-	-
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (2/2)	◎判断基準 評価項目数が10以上…… a 評価項目数が7以上10未満…… a' 評価項目数が4以上7未満…… b 評価項目数が1以上4未満…… b' 評価項目数が0……… c									
		●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。					●評価点 * 担当技術者の評価に反映。				

考查項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理技術者						
				a	a'	b	b'	c	d	e
				10	7.5	5	2.5	0	-	-
4. 取組姿勢	1. 責任感・積極性・倫理観 (1/1)		担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				15	12	7.5	4	0	-	-

●評価対象項目

(選択) (評定)

☐ 1. 当該業務に従事した技術者の技術研鑽に企業として積極的に取り組んでいる。

☐ 2. 当該業務遂行にあたって、取り組みへの責任感・積極性が評価できるものであった。

☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により業務を完成させた。

☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあつた。

☐ 5. その他[]

◎判断基準

評価項目数が4以上・・・ a

評価項目数が3・・・・ a'

評価項目数が2・・・・ b

評価項目数が1・・・・ b'

評価項目数が0・・・・ c

●評価点

* 業務評定、管理技術者の評価に反映。

●評価点

* 担当技術者の評価に反映。

調査項目	事故等による減点／瑕疵修補又は損害賠償による減点／その他									
6. 事故等による減点等		※減点はマイナス入力								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>減点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>3. その他()</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table>	項目	減点	1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)	点	2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)	点	3. その他()	点	
	項目	減点								
	1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)	点								
2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)	点									
3. その他()	点									

調査項目	細 別	選択区分	業務、管理技術者		c		d		e	
			a	a'	b	b'	c	d	e	
			10	—	5	—	0	—5	—10	
1. 実施能力の評価	1. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)							□ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	□ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 ☐ 2. 業務計画書が契約締結後14日(休日等を含む)以内に提出されている。 ☐ 3. 業務計画書は、必要な事項について、本業務に即した内容で記載されている。また、重要な内容を変更する場合は、その都度監督員に変更業務計画書を提出している。 ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書を検討項目を満足している。 ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による表現など工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ 6. 業務計画書の記載内容と調査方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。 ☐ 7. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導・管理を行っている。 ☐ 8. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載されている。 ☐ 9. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載されている。 ☐ 10. 現場状況に応じた作業員の安全活動や事故防止活動等の安全管理対策が確認できる。 ☐ 11.その他〔								
		評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・・・ c							①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()	

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	9	6	3	0	-6	-12
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 設計図書の内容が十分に把握されている。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☐ 6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 7. その他〔 〕(対象:管理、担当技術者) ☐ 品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。 ☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。									

(4)調査業務及び計画業務(計画業務)

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	9	6	3	0	-6	-12
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	21	14	7	0	-14	-28

5. 結果の 評価	1. 成果 品の品質 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典が整理され、分かりやすく成果に記載されている。 ☐ 3. 調査・計画時の配慮事項やポイント、品質を高めるための提案が、引き継ぎ事項として整理されている。 ☐ 4. 現地踏査の結果で判明した調査、計画上対応が必要な事項について、その対策が記載されている。 ☐ 5. 業務遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ 6. 誤字・脱漏、記載ミスなどがほとんど認められない。 ☐ 7. 理解しやすい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 ☐ 8. 個々の説明において、図や表を活用するなど分かりやすい説明となっている。 ☐ 9. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☐ 10. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。										

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	15	10	5	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	21	14	7	0	-14	-28	
5. 結果の 評価	1. 成果 品の品質 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 11. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ 12. 業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ ☐ 13.その他										
		評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・ b' 評価値が60%未満・・・ c										

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()

(5)設計業務(概略設計及び予備設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					5	－	2.5	－	0	-2.5	-5		
1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。	
		☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、他の手本となる優れたものである。 ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 県内在住の技術者が配置されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。 ☐ 9. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 ☐ 10.その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)											
					評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・ b 評価値が70%未満・・・・ c								
					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()								

(5)設計業務(概略設計及び予備設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	－	2.5	－	0	～2.5	～5	
2. 実施状況の評価	I. 執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									□ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	□ 執行管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務工程表は、契約締結後14日以内に提出されている。 ☐ 2. 契約締結後14日(休日等除く)以内に設計業務等に着手している。 ☐ 3. TECRISまたはAGRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上で契約締結後15日(休日等除く)以内に行っている。 ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ 9. 業務工程表は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。										

3/204/20

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10		
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e		
					28	21	14	7	0	-14	-28		
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	●評価対象項目											
☐ ☐ 13. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 14. 設計図書に示す設計事項と照合して資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て資料収集を実施している。 ☐ ☐ 15. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 16. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 17. 構造等について、維持管理の容易さも考慮した検討がされている。 ☐ ☐ 18. 構造及び維持管理において、施設の長寿命化を考慮した検討・提案がされている。 ☐ ☐ 19. 過年度の打合せ経緯や業務成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 20. 当該現場の施工条件や環境特性などを的確に把握している。 ☐ ☐ 21. 当該現場における施工上の留意点が、重要度や施工段階を考慮し的確に提案されている。 ☐ ☐ 22. 仮設計画が施工条件を的確に踏まえて提案されている。 ☐ ☐ 23.その他〔 (対象:管理、担当技術者)													
評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・ c													
①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()													

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	—	—
2. 実施状況の評価	IV. 創意工夫 (1/1)	●評価対象項目									
		☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。									
		☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。									
		☐ 3. 品質管理のための具体的な取り組みの提案や照査体制が構築され、有効的に機能していることが確認できた。									
		☐ 4. ライフサイクルコストや新技術の活用など、総合的かつ有効的なコスト削減の提案がなされている。									
		☐ 5. 当該業務においてDX推進の取り組みを実施している。									
		☐ 6. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。									
		具体記述()									
		◎判断基準									
		評価項目数が5以上・・・ a 評価項目数が4・・・ a' 評価項目数が3・・・ b 評価項目数が1又は2・・・ b' 評価項目数が0・・・ c									
●評価点											
* 業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。											

(5)設計業務(概略設計及び予備設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					6	－	3	－	0	－3	－6	
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (1/2)	●評価対象項目									☐ 説明調整につ いて、監督員 が文書で改善 指示を行っ た。	☐ 説明調整につ いて、監督員 の文書による 改善指示に従 わなかった。
		☐ 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ 3. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ ☐ 4. 業務を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ ☐ 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成を行ったり、協議に参加して円滑な協議進行に寄与する等貢献している。 ☐ ☐ 6. 関係官公庁等への手続きや地元関係者との交渉の状況が遅滞なく報告されている。 ☐ ☐ 7. 受注者が行う地元関係者への説明や交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ ☐ 8. 地元説明会に参加し、説明会の運営等に貢献した。 ☐ ☐ 9. 地域における問題点や課題に精通し、地元要望や意見を取り入れるなど地元住民との合意形成を図る努力が行われた。 ☐ ☐ 10. 車両の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ ☐ 11.その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)										

(5)設計業務(概略設計及び予備設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

9/2010/20

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	Ⅰ. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。									
		☐ 2. 管理技術者は、関連業務の受注者と積極的かつ主導的に協議を行い、相互に協力しながら業務を行っている。									
		☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。									
		☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。									
		☐ 5. その他[]									
		◎判断基準									
		評価項目数が4以上・・・ a									
		評価項目数が3・・・ a'									
		評価項目数が2・・・ b									
評価項目数が1・・・ b'											
評価項目数が0・・・ c											
※業務執行上の過失として監督員細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし、理由を記載すること。											
☐ 監督員細別評価項目d評価に該当											
理由 []											
☐ 監督員細別評価項目e評価に該当											
理由 []											
●評価点											
* 業務評定、管理技術者の評価に反映。											

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-
					a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	-	-
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		Ⅰ 設計条件への対応									
		☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。									
		☐ 2. 設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が評価できる。									
		☐ 3. 設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。									
		☐ 4. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。									
		☐ 5. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。									
		☐ 6. その他[]									
		Ⅱ 高度な技術力への対応									
		☐ 1. 設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる。									
☐ 2. 委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。											
☐ 3. その他[]											
Ⅲ 地域への対応											
☐ 1. 地域の特性や気候風土、ニーズ等を把握し、計画設計に反映できていた。											
☐ 2. 地元要望に対応したきめ細やかな配慮がなされていた。											
☐ 3. 地域特性を考慮し、将来の維持管理・更新に配慮した提案・設計が行われた。											
☐ 4. 県産品を使用する提案や設計が行われた。											

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	－	－
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	－	－
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (2/2)			◎判断基準 評価項目数が10以上…… a 評価項目数が7以上10未満…… a' 評価項目数が4以上7未満…… b 評価項目数が1以上4未満…… b' 評価項目数が0…… c ●評価点 ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。 * 担当技術者の評価に反映。							

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	－	－
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					15	12	7.5	4	0	－	－
4. 取組姿勢	1. 責任感・積極性・倫理観 (1/1)			●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 当該業務に従事した技術者の技術研鑽に企業として積極的に取り組んでいる。 ☐ 2. 当該業務遂行にあたって、取り組みへの責任感・積極性が評価できるものであった。 ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により業務を完成させた。 ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。 ☐ 5. その他[] ◎判断基準 評価項目数が4以上…… a 評価項目数が3…… a' 評価項目数が2…… b 評価項目数が1…… b' 評価項目数が0…… c ●評価点 ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。 * 担当技術者の評価に反映。							

考查項目	事故等による減点／瑕疵修補又は損害賠償による減点／その他	
6. 事故等による減点等		
	項目	減点
	1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)	点
	2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)	点
	3. その他()	点

※減点はマイナス入力

考 査 項 目	細 別	選 択 区 分	評 価 区 分	業 務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	-	5	-	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	1. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 ☐ 2. 業務計画書が契約締結後14日(休日等を含む)以内に提出されている。 ☐ 3. 業務計画書は、必要な事項について、本業務に即した内容で記載されている。また、重要な内容を変更する場合は、その都度監督員に変更業務計画書を提出している。 ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の検討項目を満足している。 ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による表現など工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導・管理を行っている。 ☐ 7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載されている。 ☐ 8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載されている。 ☐ 9.その他[]									
					評価値が90%以上・・・・ a						
					評価値が70%以上90%未満・・・ b						
					評価値が70%未満・・・・ c						

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()

(5)設計業務(概略設計及び予備設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	9	6	3	0	-6	-12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 設計図書の内容が十分に把握されている。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☐ 6. 現場発生材の発生抑制や利活用について検討され、成果に反映されている。 ☐ ☐ 7. 最適な施工計画の立案等により、コスト縮減が可能となる成果が得られている。 ☐ 8. 「業務計画書」における「成果物の品質を確保するための計画」に記載された内容が適切であり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 9. 最適な施工計画の立案、新技術、新工法の採用等により工期短縮が可能となる成果が得られている。 ☐ ☐ 10. その他[](対象:管理、担当技術者)								☐ 品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

(5)設計業務(概略設計及び予備設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				10	7.5	5	2.5	0	-5	-10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				20	15	10	5	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	9	6	3	0	-6	-12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・ b' 評価値が60%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

19/2020/20

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5
1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)								☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。
		☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順、手法であり、他の手本となる優れたものである。 ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ 8. 県内在住の技術者が配置されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。 ☐ 9. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出している。 ☐ 10.その他() (対象: 管理、担当技術者)									
					評価値が90%以上・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・ c						
①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()											

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5
2. 実施状況の評価	1. 執行管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後14日以内に提出されている。 ☐ 2. 契約締結後14日(休日等除く)以内に設計業務等に着手している。 ☐ 3. TECRISまたはAGRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上で契約締結後15日(休日等除く)以内に行っている。 ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ 9. 業務工程表は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。								☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					5	－	2.5	－	0	－2.5	－5	
2. 実施状況の評価	I. 執行 管理 (2/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)										
		☐ ☐ 12. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 13. 第三者の土地への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 14. 交付を受けた身分証明書は、業務工期中に返却されている。 ☐ ☐ 15. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 17. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 18. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 ☐ ☐ 19. 業務遂行段階で地域の特性や現場条件を考慮した提案がなされた。 ☐ ☐ 20.その他 (対象: 管理、担当技術者)										
					①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()							

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者		a		a'		b		b'		c		d		e									
				10		7.5		5		2.5		0		-5		-10											
				a		a'		b		b'		c		d		e											
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)			照査技術者		28		21		14		7		0		-14		-28									
				●評価対象項目																							
				☐	☐	1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。												☐	品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。				☐	品質管理について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。			
				☐	☐	2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。																					
				☐	☐	3. 基本条件の設定に対し、管理技術者が現地状況等の基本情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。																					
				☐	☐	4. 埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が反映されているかの照査が適正に行われている。																					
				☐	☐	5. 設計方針及び設計手法が適切であるかの照査が適正に行われている。																					
				☐	☐	6. 設計計算書、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査が適正に行われている。																					
				☐	☐	7. 成果物の照査のみならず、仮設工及びコスト削減、建設副産物対策の妥当性についても十分な照査が適正に行われている。																					
				☐	☐	8. 現場条件に対応した計画案を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。																					
				☐	☐	9. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。																					
				☐	☐	10. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に監督員の承諾を得ている。																					
				☐	☐	11. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。																					
				☐	☐	12. 業務の実施にあたり、現地踏査等を行い現地の状況を把握している。																					

審査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者					a' b' c d e										
				10 7.5 5 2.5 0 -5 -10															
				a a' b b' c d e					28 21 14 7 0 -14 -28										
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)	●評価対象項目																	
☐ ☐ 13. 現地調査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 14. 設計図書に示す設計事項と照合して資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て資料収集を実施している。 ☐ ☐ 15. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 16. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 17. 構造等について、維持管理の容易さも考慮した検討がされている。 ☐ ☐ 18. 構造及び維持管理において、施設の長寿命化を考慮した検討・提案がされている。 ☐ ☐ 19. 過年度の打合せ経緯や業務成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 20. 当該現場の施工条件や環境特性などを的確に把握している。 ☐ ☐ 21. 当該現場における施工上の留意点が、重要度や施工段階を考慮し的確に提案されている。 ☐ ☐ 22. 仮設計画が施工条件を的確に踏まえて提案されている。 ☐ ☐ 23.その他〔 〕(対象:管理、担当技術者)																			
評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c																			

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()

調査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
2. 実施状況の評価	IV. 創意工夫 (1/1)	●評価対象項目 ☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ 3. 品質管理のための具体的な取り組みの提案や照査体制が構築され、有効的に機能していることが確認できた。 ☐ 4. ライフサイクルコストや新技術の活用など、総合的かつ有効的なコスト削減の提案がなされている。 ☐ 5. 当該業務においてDX推進の取り組みを実施している。 ☐ 6. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述() ◎判断基準 評価項目数が5以上・・・ a 評価項目数が4・・・ a' 評価項目数が3・・・ b 評価項目数が1又は2・・・ b' 評価項目数が0・・・ c ●評価点 * 業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。									

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度　〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					6	－	3	－	0	－3	－6	
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (1/2)	●評価対象項目									☐ 説明調整につ いて、監督員 が文書で改善 指示を行っ た。	☐ 説明調整につ いて、監督員 の文書による 改善指示に従 わなかった。
		☐ 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。	☐ 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。	☐ 3. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。	☐ 4. 業務を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。	☐ 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成を行ったり、協議に参加して円滑な協議進行に寄与する等貢献している。	☐ 6. 関係官公庁等への手続きや地元関係者との交渉の状況が遅滞なく報告されている。	☐ 7. 受注者が行う地元関係者への説明や交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。	☐ 8. 地元説明会に参加し、説明会の運営等に貢献した。	☐ 9. 地域における問題点や課題に精通し、地元要望や意見を取り入れるなど地元住民との合意形成を図る努力が行われた。		

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度　〇〇委託業務
(担当係長(監督員))

考查項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	－3	－6
3. 説明調 整能力の 評価	I. 説明 調整能力 (2/2)	評価値が90%以上・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

9/2010/20

(6)設計業務(詳細設計)

令和○年度 ○○委託業務
(担当課長)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	Ⅰ. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。									
		☐ 2. 管理技術者は、関連業務の受注者と積極的かつ主導的に協議を行い、相互に協力しながら業務を行っている。									
		☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。									
		☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。									
		☐ 5. その他[]									
		◎判断基準									
		評価項目数が4以上・・・ a									
		評価項目数が3・・・ a'									
		評価項目数が2・・・ b									
評価項目数が1・・・ b'											
評価項目数が0・・・ c											
※業務執行上の過失として監督員細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし、理由を記載すること。											
☐ 監督員細別評価項目d評価に該当											
理由 []											
☐ 監督員細別評価項目e評価に該当											
理由 []											
●評価点											
* 業務評定、管理技術者の評価に反映。											

(6)設計業務(詳細設計)

令和○年度 ○○委託業務
(担当課長)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	-	-
					a	a'	b	b'	c	d	e
					担当技術者	25	19	12.5	7	0	-
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定)									
		Ⅰ 設計条件への対応									
		☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。									
		☐ 2. 設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が評価できる。									
		☐ 3. 設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。									
		☐ 4. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。									
		☐ 5. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。									
		☐ 6. その他[]									
		Ⅱ 高度な技術力への対応									
		☐ 1. 設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる。									
☐ 2. 委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。											
☐ 3. その他[]											
Ⅲ 地域への対応											
☐ 1. 地域の特性や気候風土、ニーズ等を把握し、計画設計に反映できていた。											
☐ 2. 地元要望に対応したきめ細やかな配慮がなされていた。											
☐ 3. 地域特性を考慮し、将来の維持管理・更新に配慮した提案・設計が行われた。											
☐ 4. 県産品を使用する提案や設計が行われた。											

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当課長)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	～	～
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	～	～
2. 実施状況の評価	Ⅲ. 業務特性 (2/2)			◎判断基準 評価項目数が10以上…… a 評価項目数が7以上10未満…… a' 評価項目数が4以上7未満…… b 評価項目数が1以上4未満…… b' 評価項目数が0…… c ●評価点 ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。 * 担当技術者の評価に反映。							

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(担当課長)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	～	～
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					15	12	7.5	4	0	～	～
4. 取組姿勢	1. 責任感・積極性・倫理観 (1/1)			●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 当該業務に従事した技術者の技術研鑽に企業として積極的に取り組んでいる。 ☐ 2. 当該業務遂行にあたって、取り組みへの責任感・積極性が評価できるものであった。 ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により業務を完成させた。 ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。 ☐ 5. その他[] ◎判断基準 評価項目数が4以上…… a 評価項目数が3…… a' 評価項目数が2…… b 評価項目数が1…… b' 評価項目数が0…… c ●評価点 ●評価点 * 業務評定、管理技術者の評価に反映。 * 担当技術者の評価に反映。							

調査項目	事故等による減点／瑕疵修補又は損害賠償による減点／その他									
6. 事故等による減点等		※減点はマイナス入力								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>減点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>3. その他()</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table>	項目	減点	1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)	点	2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)	点	3. その他()	点	
	項目	減点								
	1. 事故等による減点(業務遂行段階を対象とする)	点								
2. 成果物に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く)	点									
3. その他()	点									

調査項目	細 別	選択区分	評価区分	業務、 管理技術者	a'	b'	c'	d'	e'
					10	5	0	-5	-10
1. 実施能力の評価	1. 実施体制と執行計画 (1/1)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 ☐ 2. 業務計画書が契約締結後14日(休日等を含む)以内に提出されている。 ☐ 3. 業務計画書は、必要な事項について、本業務に即した内容で記載されている。また、重要な内容を変更する場合は、その都度監督員に変更業務計画書を提出している。 ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書を検討項目を満足している。 ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図表等による表現など工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導・管理を行っている。 ☐ 7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載されている。 ☐ 8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載されている。 ☐ 9.その他			☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督員の文書による改善指示に従わなかった。			
					評価値が90%以上..... a 評価値が70%以上90%未満..... b 評価値が70%未満..... c		①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()		

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				10	7.5	5	2.5	0	-5	-10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				20	15	10	5	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	9	6	3	0	-6	-12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (1/2)	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ 1. 設計図書の内容が十分に把握されている。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ☐ 5. 品質確保のための社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 ☐ 6. 現場発生材の発生抑制や利活用について検討され、成果に反映されている。 ☐ ☐ 7. 最適な施工計画の立案等により、コスト縮減が可能となる成果が得られている。 ☐ 8. 「業務計画書」における「成果物の品質を確保するための計画」に記載された内容が適切であり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 9. 最適な施工計画の立案、新技術、新工法の採用等により工期短縮が可能となる成果が得られている。 ☐ ☐ 10. その他〔](対象:管理、担当技術者) 〕								☐ 品質管理について、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

(6)設計業務(詳細設計)

令和〇年度 〇〇委託業務
(検査員)

審査項目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				10	7.5	5	2.5	0	-5	-10	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				20	15	10	5	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12	9	6	3	0	-6	-12	
2. 実施状況の評価	II. 品質管理 (2/2)										
		評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・ b' 評価値が60%未満・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)＝該当項目数()／評価対象項目数()									

19/2020/20

(業務分類名)										業務等名																			
評価項目		細 別	担当係長(監督員)							担当課長							検査員							細別評定点					
			a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	評価点	基礎点	評定点 / 配点	(評定率)		
プロセス 評価	1. 実施能力 の評価	I. 実施体制と 執行計画																							/	20			
	2. 実施状況 の評価	I. 執行管理																							/	5			
		II. 品質管理																							/	20			
		III. 業務特性																							/	10			
		IV. 創意工夫																							/	4			
	3. 説明調整 能力の評価	I. 説明調整能力																							/	6			
	4. 取組姿勢	I. 責任感・積極性・倫理観																							/	5			
結果 評価	5. 結果の評価	I. 成果品の品質																						/	30				
評定者別評価点 ①																													
評定者別基礎点 ②																													
評定者別評定点 ③=①+②			④							⑤							⑥												
業務評定点計 ⑦=④×0.4+⑤×0.2+⑥×0.4																											/ 100		
事故等による減点(業務進行段階を対象とする) ⑧																													
成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く) ⑨																													
その他() ⑩																													
総合評定点の算定			総合評定点⑪=⑦+⑧+⑨+⑩																										
			(担当係長(監督員))							(担当課長)							(検査員)												
所 見																													

(業務分類名)				業務等名																										
評価項目		細 別	担当係長(監督員)							担当課長							検査員							細別評定点						
			a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	評価点	基礎点	評定点 / 配点	(評定率)			
プロセス評価	1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画																							/	20				
	2. 実施状況の評価	I. 執行管理																							/	5				
		II. 品質管理																							/	20				
		III. 業務特性																							/	10				
		IV. 創意工夫																							/	4				
	3. 説明調整能力の評価	I. 説明調整能力																						/	6					
	4. 取組姿勢	I. 責任感・積極性・倫理観																						/	5					
結果評価	5. 結果の評価	I. 成果品の品質																						/	30					
管理技術者評定点 ①																								/	100					
事故等による減点(業務遂行段階を対象とする) ②																														
成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合(軽微なミスの修正を除く) ③																														
その他() ④																														
管理技術者評定点合計			総合評定点⑤=①+②+③+④																											

担当技術者 成績集計表

(業務分類名)								業務等名																			
評価項目		細 別	担当係長(監督員)						担当課長						検査員						細別評定点						
			a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	評価点	基礎点	評定点 / 配点	(評定率)
プロセス評価	1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画																								/ 5.0	
	2. 実施状況の評価	I. 執行管理																								/ 5.0	
		II. 品質管理																								/ 30.0	
		III. 業務特性																								/ 12.5	
		IV. 創意工夫																								/ 4	
	3. 説明調整能力の評価	I. 説明調整能力																								/ 6	
	4. 取組姿勢	I. 責任感・積極性・倫理観																								/ 7.5	
結果評価	5. 結果の評価	I. 成果品の品質																							/ 30.0		
担当技術者評定点 ①																										/ 100	
事故等による減点(業務遂行段階を対象とする) ②																											
成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く) ③																											
その他() ④																											
担当技術者評定点合計			総合評定点⑤=①+②+③+④																								

照査技術者 成績集計表

(業務分類名)			業務等名																							
評価項目		細 別	担当係長(監督員)						担当課長						検査員						細別評定点					
			a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	評価点	基礎点	評定点 / 配点
プロセス評価	1. 実施能力の評価	I. 実施体制と執行計画																								
	2. 実施状況の評価	I. 執行管理																								
		II. 品質管理																							/	50
		III. 業務特性																								
		IV. 創意工夫																								
	3. 説明調整能力の評価	I. 説明調整能力																								
4. 取組姿勢	I. 責任感・積極性・倫理観																									
結果評価	5. 結果の評価	I. 成果品の品質																						/	50	
照査技術者評定点 ①																								/	100	
事故等による減点(業務遂行段階を対象とする) ②																										
成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点(軽微なミスの修正を除く) ③																										
その他() ④																										
照査技術者評定点合計			総合評定点⑤=①+②+③+④																							

参考:採点上の補足

1. 業務執行に係る過失に伴う減点について
採点表の評価細目で「その他」を選択する場合は、その理由を記載する。以下、例を示す。
- (業務執行上の過失の評価例)
・その他(監督員の再三の指示にもかかわらず、改善されなかった。)
2. 高度な技術レベルが求められる場合等について
採点表の評価細目で、“高度な技術レベル”“難易度の高い業務”の項目があるが、これに関しては以下の例に示される「知識」の高い業務かつ／又は「構想力・応用力」の高い業務(第Ⅱ象限、第Ⅲ象限、第Ⅳ象限)を指す。以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

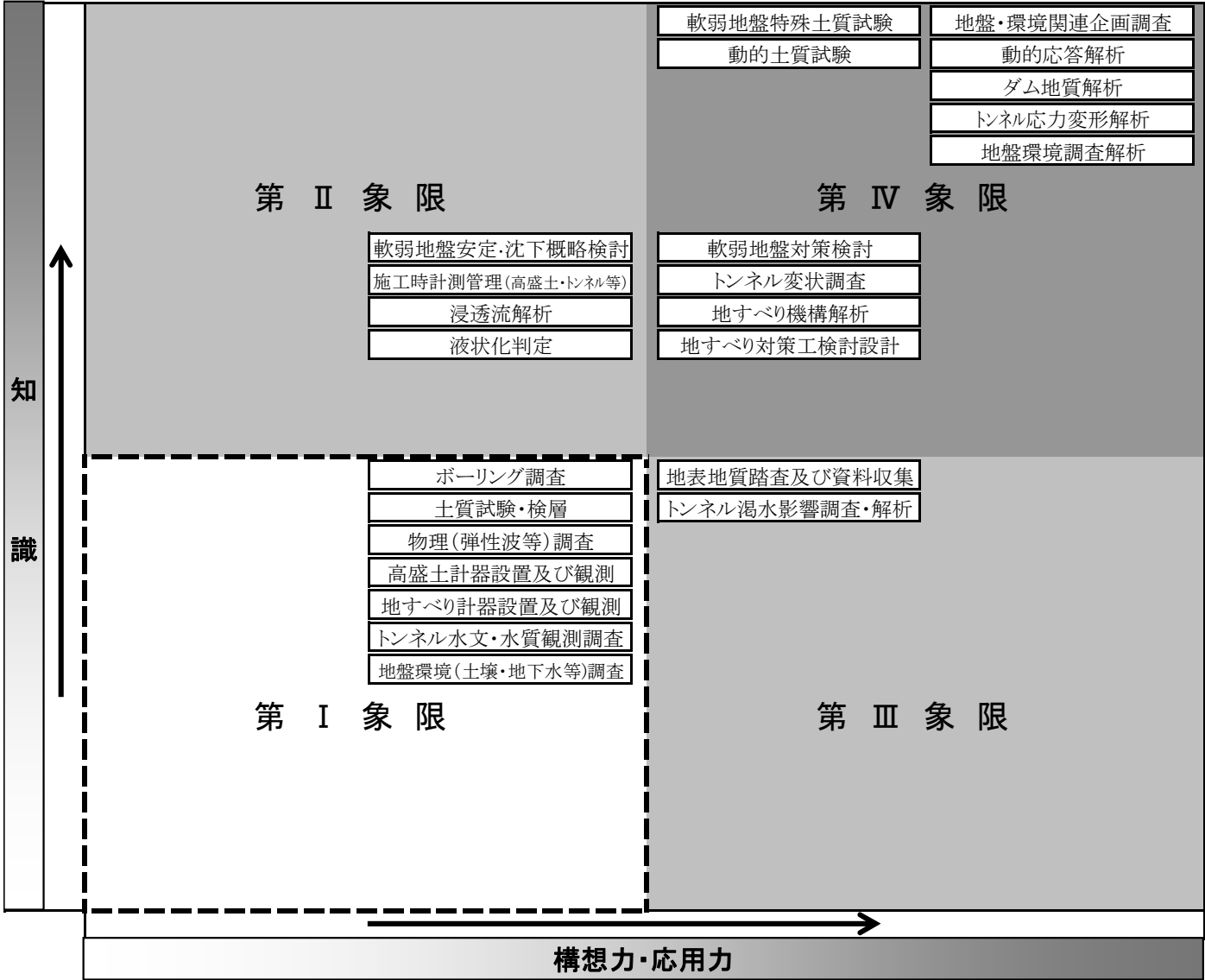


図 地質調査の例

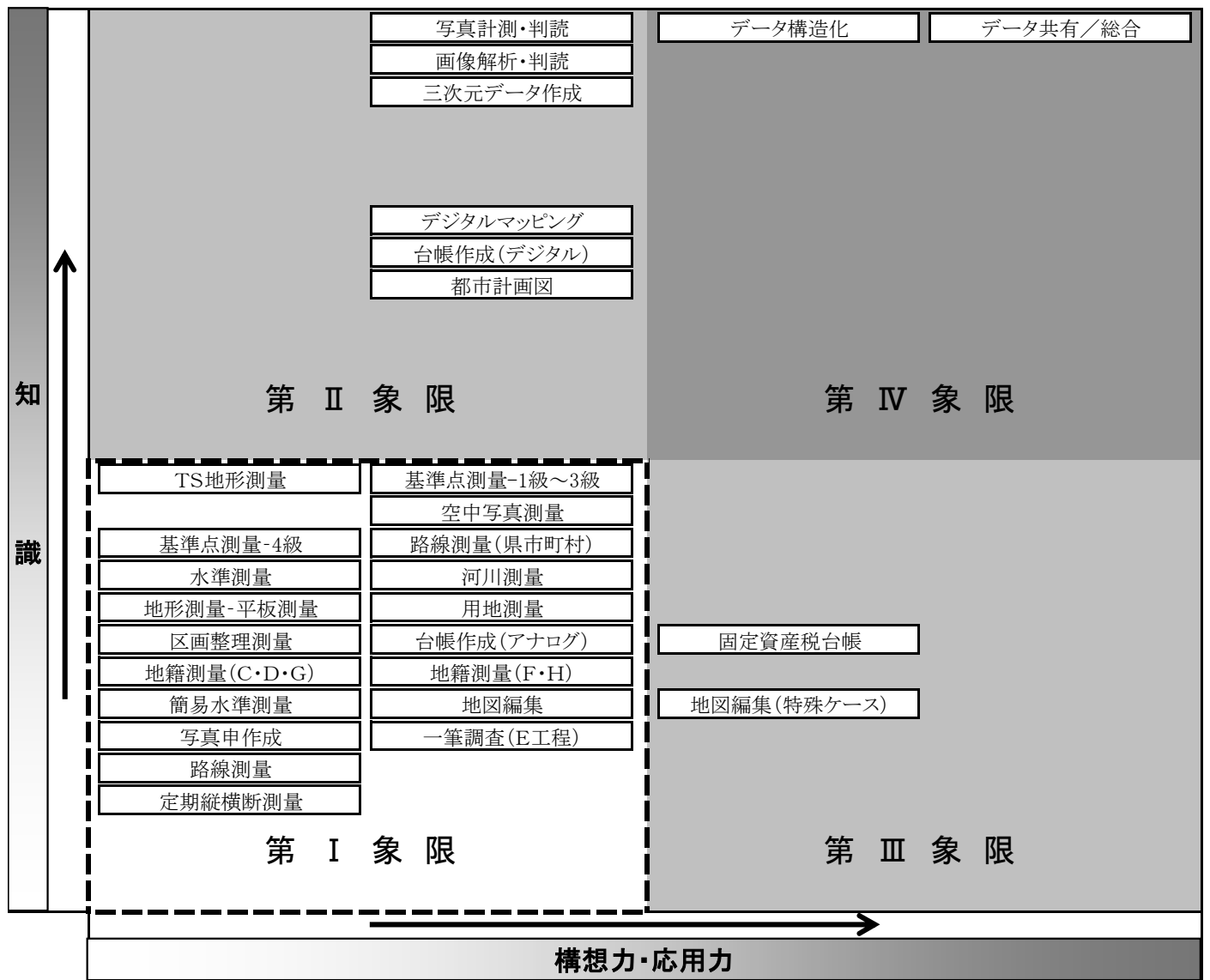


図 測量業務の例

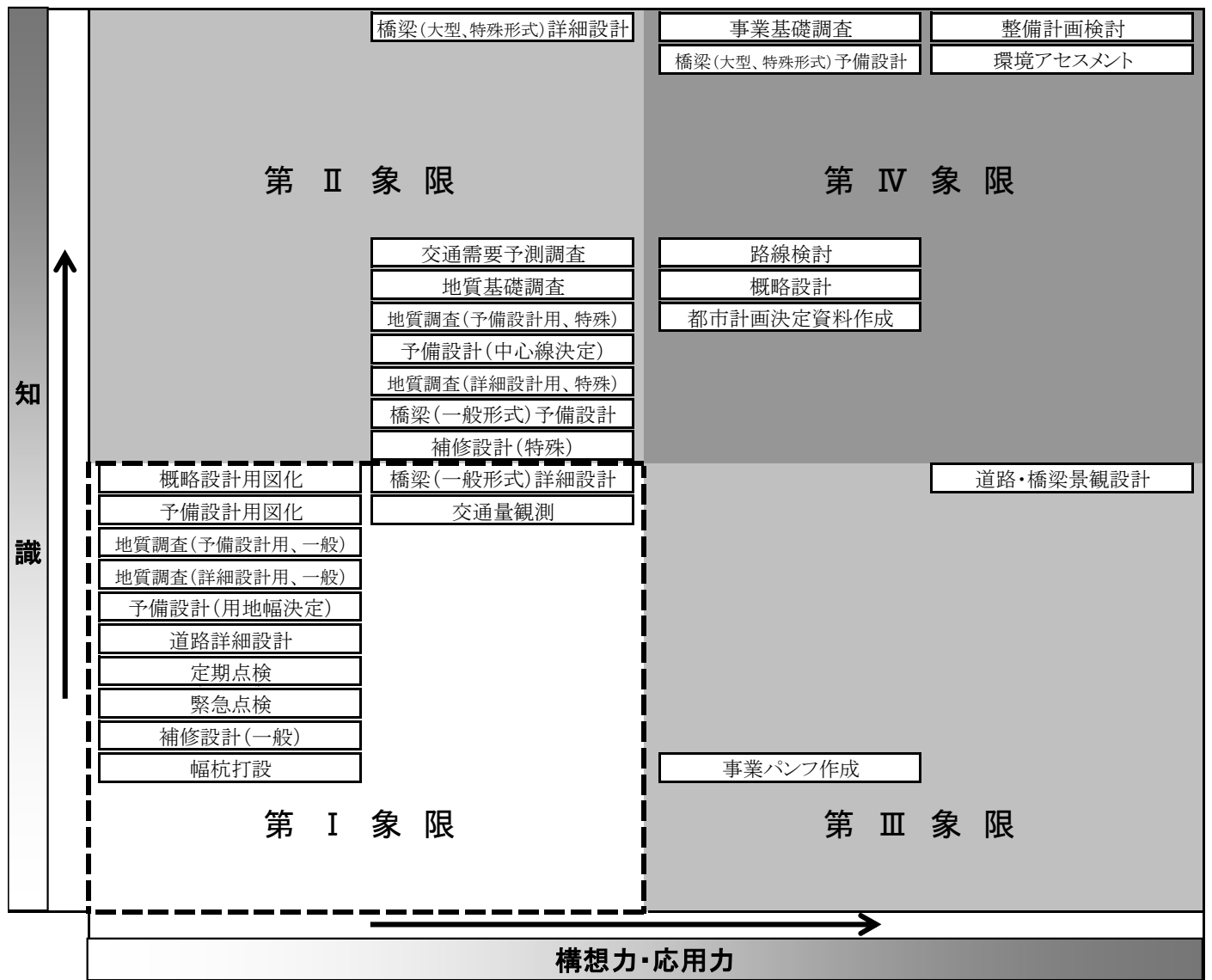
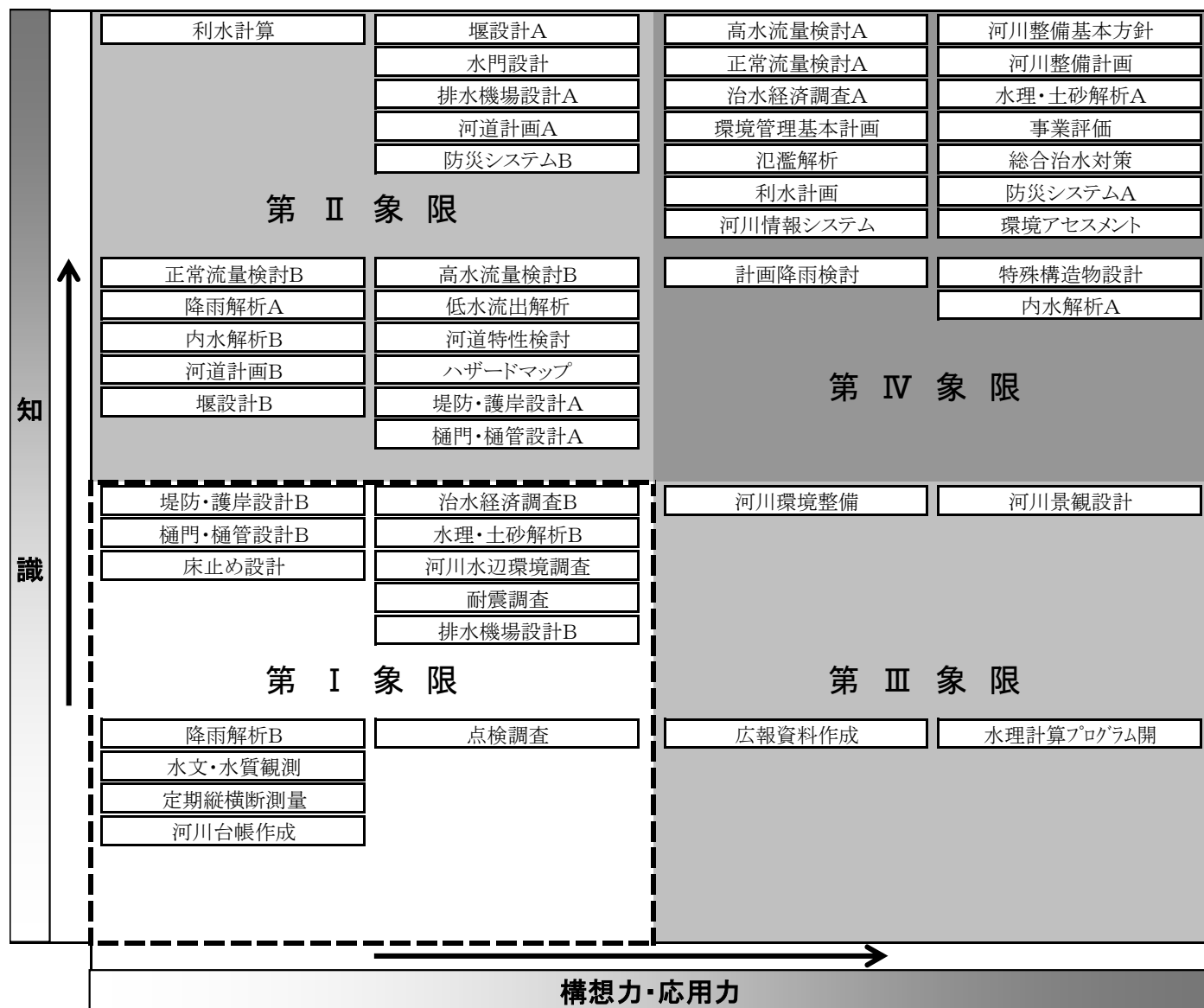


図 道路事業に係わる調査・計画・設計業務の例



注：A, Bは同種の業務における難易度の違いを表し、Aは難易度が大きいものである。

図 河川事業に係わる調査・計画・設計業務の例